

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催を予定していた日時・場所

日時	令和 5年 2月10日13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	-------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
井澤 一成(欠)	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(オンライン参加)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
斉木 和夫(欠)	当該サービスに知見を有する者	斉木クリニック 院長
小林 雅子(オンライン参加)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
松信 哲朗(欠)	当該サービスに知見を有する者	仲町台駅前まつのぶクリニック 院長
澤野 直美(オンライン参加)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立	法人代表	
吉井 涼子	管理者	
宮島 佳代	看護主任	
石濱 千秋	計画作成者	
青柳 かおる	副管理者	
佐藤 恵理	看護リーダー	
佐藤 康子	看護リーダー	
後藤 瑞佳	事務	
加藤 萌子	事務	

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

・職員が4名減っているが、登録者は増えていて、頑張っていると思うけど大丈夫なのか？

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

・人員不足については、訪問介護・訪問看護との一体化を図ったことで、新規の受け入れの可否も情報を共有して決めるようにしており、以前より受け入れ易くなっている。

7. 地域からの情報提供

・特になし

8. その他特記事項

・特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	吉井 涼子	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 5年 1月

登録者数(1月 31日現在)	女性 11名	男性 11名	計 22名					
要介護度	要支援1 名	要支援2 名	要介護1 0名	要介護2 1名	要介護3 3名	要介護4 5名	要介護5 13名	申請・区変中 0名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	21	1	11	1 (訪問看護)
イ	13	0	14	4
ウ	12	1	26	3
エ	7	0	15	6
オ	6	4	0	9
カ	13	1	42	2
キ	18	17	2	54 入院:1/6~1/12
ク	0	0	2	3 死亡:1/5
ケ	10	9	2	6
コ	11	1	25	5
サ	31	26	8	2
シ	9	2	15	12
ス	24	19	41	68
セ	21	17	16	62
ソ	10	2	16	22
タ	0	0	2	2 死亡:1/1
チ	9	2	30	0
ツ	7	6	9	0
テ	6	0	13	5 開始:1/10~
ト	10	2	22	0
ナ	11	0	27	3
ニ	4	5	1	2 開始:1/27~
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				平均要介護度 4.42
ヘ				
平均	11.50	5.23	15.41	

4. 運営方針

事業所の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 育成計画を改善し、より良い計画にブラッシュアップする 2. 具体的な行動ができるように災害時のマニュアルを見直す 3. 職員のACPの理解を深め、実践できる 4. 他部門との一体化を強化と新規雇用で職員を確保し、登録者数を増やす
目標に向けた具体的取組	<ol style="list-style-type: none"> 1-1) 職員にヒアリングをし育成計画の課題を明確にして、計画に反映する 2-1) 災害時の具体的な行動を考え、マニュアルを見直し、作成する 3-1) ACPの研修会の開催 4-1) 職員間の伝達、職員の異動、新規雇用を進める

5. 活動報告

<p>【11月】安全衛生委員会・管理者会議・運営推進会議・運営会議・虐待報告検討会・喀痰吸引会議・一体化会議</p> <p>【12月】・感染症対応指導者養成研修 参加 コミュニケーション研修会(グループワーク) ・安全衛生委員会・管理者会議・運営会議・虐待報告検討会・喀痰吸引会議・一体化会議 ・クリスマス会</p> <p>【1月】・安全衛生委員会・管理者会議・運営会議・虐待報告検討会・喀痰吸引会議・一体化会議 ・ハラスメント防止対策研修会</p>

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	お昼の注入分を看護師2人で手順書を見ながら5人分準備した。その際、当該利用者は、ラコールNF1/2パックであることを確認。一旦、他のケアを行った後、準備しておいた栄養を順番に注入して回り、1パック注入してしまった。
改善策	準備の時、注入の時どちらも手順書を確認する。
内容	トイレ介助時、トイレ内の手すりにつかまって立位保持をしてもらい、車いすを後ろに下げた。その際、フットレストが左踝の上部にぶつかった。本人より、「痛い」と言われ、ぶつかったことに気づいた。左踝の上部が青く変色しており、看護師に報告した。立位保持の時間を短くしようと急いでおり、フットレストから降ろした足の位置を確認していなかった。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・足の幅を確認し車椅子を動かす。 ・フットレストを外せるタイプに変更する。
内容	夜勤者からティーサーバーの鍵が見当たらず、予備の鍵を使用したと、介護リーダーに連絡があった。前日の夜勤者が、ティーサーバーの清掃後、鍵を所定の場所に戻さず、使用したペーパーと一緒にデイルームのゴミ箱に捨ててしまったことに気が付いた。一週間に一度の清掃の日で手間取り、鍵を持ちながら無意識に行動してしまった。
改善策	清掃中は、鍵穴に鍵を刺したまま扉を開放して作業し、終了後扉を閉め施錠し、直ぐに所定の場所に戻す。

内容	通所の送迎時、自宅に到着し、車いすの固定フックを外し、リモコン操作で車いすを降ろそうとしたが、固定フックがブレーキワイヤーに引っ掛かって降りてこなかった。ブレーキワイヤーを固定フックから外し、再度、操作をし降ろすことができたが、ワイヤーの根元が破損していた。車椅子の移動は可能だったため、自宅に入りベッドに移乗し、状況を家族に伝えた。固定フックが外れていることは確認したが、ワイヤーの状況は確認せず操作を続けた。又、引っ掛かり易い構造であった。
改善策	・同じ型の車椅子を交換し、ワイヤーを固定した。 ・操作のポイントを習熟する

内容	「本日、通い利用だが未だ迎えがこない。9時前から待っているのにどうなっているのか？」と利用者宅より連絡があった。ケアマネ訪問中のため、リーダーに報告。「今、向かっている、ケアマネから折り返し電話をする」と伝える。訪問から戻ったケアマネが電話し、時間を伝えていなかったことを謝罪した。原因は、家族が通いの説明書の「8時半から」との記載をみて、8時半のお迎えだと思っていた。ケアマネは、10月に3回利用があり、送迎時間は9時半～10時と毎回伝えていたので、もう理解していると思い込んでおり、再度の確認ができていなかった。
改善策	渡してあった週間スケジュールを一緒に確認した。

内容	事業所に戻り、バネット車両をバックで駐車しようとしたところ、停まっていたクリッパー車両にぶつけてしまった。バネット車体は損傷なく、クリッパー車の前方バンパーが割れていた。
対応	後方不注意であった。ぶつけた場所を確認後に報告をした。今回の損傷は修理せず使用することになった。

7. 地域への情報提供

・2月に災害時の避難訓練の予定

8. その他特記事項

・本日は、事業所評価を、参加してもらった構成員に伝え、意見を頂きました。
・4月から管理者交代(吉井涼子→石濱千秋)となりますので、宜しくお願いします。
・次年度の運営推進会議は、年6回とし、うち2回は書面会議とさせて頂く予定です。